

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月31日

計画の名称	成田市における公共下水道整備（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	成田市												
計画の目標	公共下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。また、印旛沼をはじめとする公共用水域の水質保全に寄与する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	110	A	110	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	下水道処理人口普及率を、76.1%（H30.4）～77.9%（H35.3）へ増加させる。			
	下水道処理人口普及率	76%	77%	78%
	下水道を利用できる人口（人）/行政人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	成田市	直接	成田市	管渠(汚水)	新設	江川汚水4号支線・枝管整備	L=1.2km、A=3.7ha	成田市						100	-	
	A07-002	下水道	一般	成田市	直接	成田市	管渠(汚水)	新設	宗吾汚水1号支線・枝管整備	L=0.2km、A=1.2ha	成田市							10	-
												小計						110	
												合計							110

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事後評価（案）に対し市民の意見を反映させるため、事後評価（案）を市ホームページで2週間公表し、その期間中に意見の受付を行うものとする。意見の受付方法は、電子メール、FAX、郵送、持参とする。 事後評価（案）に寄せられた意見を踏まえ、必要に応じて内容を修正する。 事後評価（案）に対する意見はなかった。	令和5年10月～11月
	公表の方法
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	未普及対策の江川汚水4号支線・枝線整備及び宗吾汚水1号支線・枝線整備の実施により、飯仲地区及び宗吾地区の生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、未普及対策として、江川汚水4号支線・枝線の整備を実施する。	

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

